

令和4年第1回議会定例会（施政方針・当初予算）

令和4年度の予算案及び諸議案のご審議をお願いするにあたり、新年度の市政運営に臨む所信の一端を述べさせていただきます。

市長に就任し、3年が過ぎようとしています。振り返りますと、1年目には、台風15号や大雨による災害への対応、続いて新型コロナウイルス感染症への対策と、今まで経験したことがない災害に向き合いながら行政運営を進めてまいりました。特に新型コロナウイルス感染症は、発見されてから2年以上が経過したところですが、未だ収束の兆しが見えない中、市民の命と健康を守るため、感染予防対策やワクチン接種など職員と一丸となって取組んでまいりました。市民の皆様には、ご理解、ご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

コロナ禍にあっても一つひとつの行政課題と向き合い、さらに、市のポテンシャルを最大限に引き出し、先人が築いてきたこのまちをもっと豊かにするための挑戦を様々な角度から続けてまいりました。そうした中、市民サービスの質を高めるため、災害や健康づくりなど様々な分野において、民間企業と連携する協定を締結してきました。また、市の重点戦略事業を展開していく後押しとなるべく本年10月から本市唯一の鉄道である北総鉄道において運賃値下げが実施されることとなりました。北総線については長年、市の最重要課題と捉え市として取組みを進めていたところであり、運賃値下げは白井の未来への歩みに弾みをつけるものとして大変喜ばしく改めてこれまで力を尽くしてこられた皆様に対し感謝申し上げる次第でございます。この機運を途切れさせることなく将来にわたる継続的な発展を念頭におき、既存商店会と公共施設の再配置を含めた駅周辺地域の面的活性化を見据え移動販売車いわゆるキッチンカーなどを試験的に導入するなどの市場調査等を進め、官民一体とな

り地域経済の発展や賑わいの創出へ向けた取組みを加速してまいります。加えて、都市や空港から近く地盤が固い等の市の立地条件を生かして企業誘致にも力を入れてまいります。

また、先ほど「諸般の報告」で申し上げたところでございますが、地域のまちづくりを担う「小学校区まちづくり協議会」が第二小学校区、第三小学校区、大山口小学校区と3つの小学校区において設立され、今後、この取組みを他の小学校区においても順次実現し、地域の特性に応じた市民協働による地域づくりを進めてまいります。教育の分野においては、これまでギガスクール構想に基づくICTの整備により教育の充実を図るとともにコロナ禍にあっても学びを守る取組みを進めてまいりましたが、さらに今年度は、経済的な事情から学びたくても学べないといった学びへの意欲を閉ざさないような学習支援の取組みも進めていきます。

何よりも子どもたちの安全を第一に、地域の実情に合わせ来年度から第一小学校、第二小学校においてスクールバスを導入することとしています。また他の学校においても、通学路の安全対策に万全を期していきます。

引き続き、新型コロナウイルス感染症のみならず、あらゆる災害から、市民の命と生活を守ることを基本理念に、市民の皆さま、議員の皆さま、事業者の皆さま、そして行政の力を結集し、オール白井で、「ときめきと みどりあふれる 快活都市」の実現に向け後期基本計画を着実に前進させてまいる所存でございます。

未だ新型コロナウイルスは市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしているところですが、市長として締めくくりとなる最後の年度にあたりコロナ禍を乗り越え市制施行20周年を迎えたふるさと白井が10年、20年後も明るく豊かなまちであり続けるよう努力してまいりますので、御理解、御協力をお願いいたします。

(当初予算)

次に、令和4年度当初予算について申し上げます。

令和4年度予算編成にあたっては、第5次総合計画で目指す市民一人ひとりが自分なりの幸せと健康を実感できるための施策を実現すべく、新型コロナウイルス感染症の影響下での後期基本計画事業の着実な実施、市民生活における安全・安心の確保、持続可能な行財政運営の実現の3つの基本方針を定め、編成しました。

これらを達成するため、令和4年度当初予算については、一般会計204億7,184万1千円で、3つの特別会計と水道事業及び下水道事業会計を合わせた総予算額の規模は、344億9,489万4千円を計上いたしました。

一般会計においては、小中学校におけるギガスクール事業で借入した市債の償還が開始することから、公債費が増加するとともに、令和3年度予算では補正予算として計上していました新型コロナウイルスワクチン接種事業を令和4年度予算では、当初予算で計上したことから、前年度比1.4%の増額となりました。

当市の第5次総合計画の基本構想に掲げる市の将来像である「ときめきと みどりあふれる 快活都市」の実現に向けて、総合計画事業として、令和4年度から開始する主な事業として、令和4年度から令和5年度の2か年で実施する富士地区の公園用地に防災機能を備えた「(仮称) 富士公園の整備」や令和4年度から令和7年度の4か年で地域資源を活用した魅力ある暮らしの促進を図るため、誰でも気軽に取り組める写真をツールとして、まだ知られていない魅力を発見するための講座などを実施する「フォトプロジェクト事業」を実施します。また、白井第一小学校と白井第二小学校で試行的に実施する「スクールバスの運行業務委託」や経済的な事情から学びたくても学べないでいる子供たちの学習を支援するための委託を行う「子どもの生活・学習支援事業」、白井駅周辺を中心都市拠点に求められる機能や役割を整理し、にぎわいの創出に資する拠点形成に向けた方針を検討するための「中心都市拠点づ

くり基礎検討業務委託」などを行います。そのほか、令和4年度に事業を本格化させる主な事業として、本年1月から稼働した情報発信プラットフォームである「しろいまっち」を利用した「官民連携ポータルサイトの運用」を行うほか、「公園遊具施設等の更新」、「民間事業者の移動販売車による試験販売」、「工業団地の従業員の通勤用バスの停留所の設置」などの事業を実施していきます。

最後に、新型コロナウイルス感染症対策に関する予算について、ご説明します。

令和4年度予算では、「新型コロナウイルス感染症から、市民の命と生活を守るための対策として実施する」ための市独自の事業として、高齢者や重度心身障がい者などの方がワクチン接種をするための移動支援のための費用や市独自PCR検査の費用、自宅療養者等の希望により、県の配食サービスが届くまでの間、食料品の配達などの自宅療養者等の支援のための費用、修学旅行中止保険費の補助などの事業を、令和3年度に引き続き、市が実施することで、市民の命と生活を守ります。

以上、施政方針並びに当初予算編成についてご説明させていただきましたが、一つひとつの課題に真摯に取り組み市政発展に向け、引き続き、全力を尽くしてまいります。